

第14回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会確認事項

1 競技規則等確認事項

- (1) 試合前後のチームの対処は公益財団法人日本バレーボール協会審判規則委員会が規定するプロトコール（試合開始前・セット間及び終了後の手順）による。
- (2) 大会3日間とも第1試合は9時00分プロトコール開始（8時55分より合同練習）とし、2試合目以降は前の試合の終了後、両チームによる合同練習5分間の後にプロトコールに入る（追い込み方式）。連続して試合がある場合には15分の休憩（合同練習5分間を含む）の後にプロトコールに入る。
- (3) スコアリングシステムは小学生の為のラリー・ポイントシステム（3セットマッチ）を採用し、1・2セット目は21点、最終セットは15点を先取したチームがそのセットの勝者となる。ただし、1・2セットでは20対20、最終セットでは14対14になったときは、いずれかのチームが2点リードするまで続行される。
- (4) コートの大きさは16m×8m、サービスゾーンの幅は8m、男女ともネットの高さは2mとする。
- (5) 全試合にマッチ・ナンバーが付けてある。
- (6) 試合中ベンチには参加申込書に記載された者以外は入れない。
- (7) 試合終了後の挨拶は、登録されている選手全員で行う。
- (8) 男子リーグ戦及び女子1日目・2日目のラインジャッジ4名、点示2名は出場チームで相互に行うこととする。割当を確認の上、当該試合プロトコール開始時刻の5分前にはコート記録席に集合すること。服装についてはチームで統一されていることが望ましい。
なお、ラインジャッジについては、ベンチ入りしている高学年の選手とする。
- (9) 参加団員の変更およびプログラムの誤り等があれば、3月25日（土）の指導者会議の際に提出し、承認をとること。

2 競技方法

<女子>

- (1) 競技1日目は都道府県代表47チームに、開催地の1チームを加えた48チームを16ブロックに分け、各組3チームによる予選リーグを行う。
リーグ戦の後、同じコートで試合を行った各組1位同士が対戦（1組対2組、3組対4組～13組対14組、15組対16組）（※順位決定戦）し、競技2日目のシード順位を決定する。（勝利したチームがシード権を得る）
- (2) 競技2日目は、競技1日目の各コートの1位チーム（※順位決定戦勝者）が各組の3位チームの2チームと、各コート2位チーム（※順位決定戦敗者）が各組の2位の2チームと対戦し、3チームのリーグ戦を行った後、各組1位同士が対戦し、その勝者（ベスト8）が競技3日目（最終日）に、準々決勝からの決勝トーナメント戦へ進出する。

- (3) リーグ戦は、8コートで行い、2組で1コートを使用する。
- (4) 決勝トーナメントは準々決勝、準決勝及び決勝を行い、3位決定戦は行わない。

<男子>

- (1) 競技1日目はブロック代表9チームに、開催地の1チームを加えた10チームを2ブロックに分け、各組5チームによる予選リーグを行う。
- (2) 競技2日目は、各組残りのリーグ戦と各組1位と2位による準決勝、及びその勝者による決勝を行い、順位を決定する。
- (3) リーグ戦は、2コートで行い、各組それぞれ1コートを使用する。
 - ※ 競技ルールについては、平成28年度公益財団法人日本バレーボール協会制定の6人制競技規則及び競技要項に準ずるが、大会実行委員会にて最終的に決定する。

3 その他

- (1) 開会式・閉会式では、チームの「応援幕」及び「のぼり」などの掲出は、一切できない。
- (2) 試合会場では、試合該当チームのみが「応援幕」を1枚掲出することができるが、試合終了後は直ちに撤去しなければならない。また、掲出形態や応援幕の大きさは会場の規定により制限される場合がある。(応援幕の大きさは縦70cm、横5m以内とする。)
 - ※ チームの「応援幕」を掲出する際は、ガムテープなど粘着テープの使用は認めない。必ずロープ・ひもを使用して手すりに固定すること。また、大会関係掲示幕やコート表示板等を覆うことがないように注意すること。
- (3) 試合会場では、試合該当チームのみが「のぼり」を立てることができるが、試合終了後は直ちに撤去し、他のチームの迷惑にならないようにすること。
 - ※ チームの「のぼり」を立てる際は、ガムテープなど粘着テープの使用は認めない。必ずロープ・ひもを使用して固定すること。また、観戦者の視界を遮ることのないように観覧席の最後部に立てること。
- (4) 応援について音の出る物での応援は一切禁止する。また、メガホンの使用も禁止する。応援は肉声と拍手だけの応援とする。
- (5) 試合会場でのストロボ等を使用しての写真撮影は、いずれかのコートで競技が行われている場合は、禁止する。
- (6) 各都道府県をPRする特産品、マスコット等は開・閉会式での使用は認めない。なお、試合会場では、試合当該チームが指定された応援席でのみ、それらを使用することができる。
- (7) 応援者へのマナー遵守の徹底は、監督から行うこと。